

秋 日

耿

漳

返照 閭巷 に入る

憂 来 誰 共 にか 語らん

古道 人の 行く こと 少なる

秋風 禾 黍 を 動かす

【作者】

耿漳（七三四年〜？）東河（山西省永濟市）出身。七六三年（宝応二年）に進士及第。大理司から左拾遺に至った。『耿拾遺詩集』一卷が現在に伝わっている。唐の肅宗の時代、大唐十才子の一人といわれています。

【語釈】

- \*返照…照り返し。または夕日の光。
- \*閭巷…閭は、二十五戸を単位とする村。巷は、その中の小路。閭巷で村里。
- \*禾黍…禾は、イネ、黍は、キビ。また禾は、穀物の総称。

【通釈】

夕日がひとけのない村に照り返し、わびしい思いがこみ上げてくるが、村の小路には、行きかう人もなく、それを語る相手もない。ただ、キビの葉ばかりが秋風に揺れさやさやと音を立てている。